三和新報

日刊(除日曜・祝祭日)第113号平市六丁目三和新報社発行電472
支社・支局―東京支局・湯本支社・内郷支社・小名浜支社　9月14日　(1ヵ月50円)
(昭和29年6月17日第三種郵便物認可)

人の往来

◇荒谷元三郎（労基署長）十四日常磐市へ
◇江連予児、四倉保守、平野正夫（平職安事務官）氏らは十四日磐城市へ
◇赤石沢正止氏（平労基署第二課長）監督実施のため十四日植田に出張

みどり号来郡延期

十四日来郡予定の県社教課の〃みどり号〃は台風十三号の来襲で十六日に延期された、このため巡回日程は十六日小川村、十七日平市十八日川前村、十九日内郷市、二十日四倉町と変更された

交通安全ポスター

常磐署では十日締切りで市内小中高校から交通安全ポスター標語を募集したが十二日審査を行いポスター三百五十八点標語二百十七点の中から入選者を次の通りきめ表彰することになつた
「ポスター」▽小学校の部古内康雄（長倉小）▽中学校の部箱崎陽子（湯本一中）▽高校の部馬場裕子（湯本高）
「標語」▽小学校の部杉村章代（藤原小）▽中学校の部国井美恵子（湯本一中）山下政一（磐崎中）▽高校の部鈴木完江（湯本二中）▽高校の部澤羽幸子（湯本高）

【平事件】不出頭の被告呼出
けさネ込みおそう

地裁平支部は平事件公判不出頭の内郷市宮町字竹の内三四利川鎮吾(三七)―容共派率先助勢組―ら二十三被告に対し十三日夜拘引状を発し十四日午前六時を期して一斉執行するよう平、内郷植田の三署に指令した、三署では同朝八時までに利川被告ら十三名を拘引したが十名は不在のため拘引できなかつた
平署では佐藤署長の指揮で同朝六時四十分ころ大場刑事が赤井村高萩字下台砂利採取業村田伊円被告(三〇)の寝込みを襲つて拘引したが永戸村合戸字入ヤブ磐城土建工事現場日雇新妻武夫被告(三二)は不在のため拘引できなかつた
内郷署は同朝六時ごろ内郷市宮町竹の内利川鎮吾(三七)同除鎮吾(三七)同袁起済(四〇)同町滝業谷好太郎(三〇)同市白水町鈴木勝利(三七)同新藤栄(四三)同佐久間信也(三八)同市つづら町堀坂鈴木静(三五)同町町の内長江久雄(三六)同町堀坂松村スイ子(三七)同木村ヒサ子(三四)の十一被告植田署では錦町中田荒井一夫(三三)を拘引した、拘引された被告らは直ちに身がらを地裁平支部に送られ同日午前十時からひらいた公判に出廷した

どぶろく押収

平税務署では十四日朝、平署と協力、好間村上好間南町田中金一(五〇)方ほか十四カ所を急襲、同村猪鼻青木政吉(三七)方ほか四カ所から焼チユウ、合成酒など二斗五升を押収した、密造酒はいずれも工業用アルコールを使つた危険なもので一升二百五十円から三百円で販売されており税務署では豊作を見越して秋祭り用の密造酒が多量に出廻るものと見て徹底的に取締るといつている

受胎調節協議

平保健所では十五日午後一時から同所会議室で衛生主任会議を開き①赤痢防止対策②食中毒防止③受胎調節その他を協議する

自動車試験

九月の小型自動車免許試験は二十七日から三十日までの四日間内郷市小島の自どう車試験場で行われる、受験希望者は十五日までに最寄りの警察署へ申し込めばよい

内郷未亡人会で売店

内郷市未亡人会(会員二百七十名)では福利厚生をはかるため十四日から市役所裏門入口に工費十五万円で建設した売店の開店披露を行つた、同売店は菓子食料品などを販売する

ぴんぴんに登録商標

平市銀座街「平餅」発売元松月堂では去月二十三日付で通産省特許局から登録商標が認可され十四日告示された

労傷者の温泉療法

平労基署では十五日午後二時から常磐市山形屋旅館で災害防止対策の一環として傷害労働者座談会を開いたが希望者には一泊八日の日程で温泉療法を実施する

妻シナ儀かねて病気療養中の処九月十三日午前八時永眠いたしました茲に生前の御厚誼を深謝し謹んで御通知申上げます
なお葬儀は九月十六日午後一時自宅出棺九品寺に於て告別式を営みます
昭和二十九年九月十四日
施主　片寄弘文
親戚総代　長瀬緑　加藤健治　小野儀八
友人総代　関正雄　柴田艶子

デッキからふり落さる
植田營林署員

十三日午後五時二十八分平発上り列車にのつていた植田營林署員柳沼三雄さん(三七)は酔いをさますため湯本、つづら間でデッキからふり落され全治二週間の負傷

待合室で盗まる

平市杉平無職木田美子さん(二四)は四日午前八時純金指輪、現金六十円を平駅待合室で盗まれた

マグロ中毒全員回復

平保健所管内で四十名の下痢患者をだした福島丸のマグロ食中毒は重症者もでて心配されていたが十三日までに全員が回復した

若い男の轢死体

十四日午前四時ごろ四倉町館下地内常磐線で職工風の若い男の轢死体を発見した、五尺二、三寸中肉中背、うす青のワイシャツ、赤シモ降り、赤短グツ、現金二十円を所持、上野―石巻間の切符は持つており平駅午前三時三十分発下り急行から飛び降りたものらしい

しよう紅熱

好間村上好間字小館大和田孝子ちゃん(三)と同字庄司和祐ちゃん(四つ)は十四日しよう紅熱と決定

台風次第に弱る
小名浜測候所　本縣の被害は少い

大きな被害を予想されていた十二号台風は九州、四国を荒しまわつて日本海にぬけ午前十一時現在、四十五キロの速度で北北東から北東への進路をとつているので、秋田県沖を通過の模様で本県沿岸は十四日夕刻から時々俄雨、風速十米くらいで予想されていたような大きな被害はないものとみられる
小名浜測候所談―風も雨も初めの予想よりは弱いので大した被害はないと思われる

上遠野小中校で休校

猛台風十二号の来襲に備え山間部の上遠野村小、中学校（生徒数千四百十六名）では十四日休校した
なお平一小では正午までで全校児童を早退させた

あす平市會

平市では十五日午後一時から市会をひらき町村合併に関する建設計画を協成する

草野村會

草野村では十五日午後七時から村会を開き合併に関する条件を協議する

内高で演芸會
廿三日増築資金造成

内郷高校PTAでは校舎増築資金造成のため二十三日午後一時と六時講堂で演芸会を開く、出演は内郷婦人会、市内名士、常磐炭鉱軽音楽部など

明日老人の日

平市荒川平養老園（園長光英博明氏）では十五日の「としよりの日」に因み午前十時から式典を行うが午後からは双葉福祉協議会、平婦人会員など四十名が慰問品を贈つて一日を楽しくすごすことになつた

常磐市役所で点呼制

常磐市役所では十五日朝から職場の統制を計るため点呼を行うことになつた、課長がそれぞれ班長となり総員、欠勤及び理由を矢吹市長に報告することになつており軍国調一色にぬりつぶされるようだとの声もある

百合　ネクタイ　百合

いのしし見参

○…秋の収獲時を間近にして石城郡下の山村に「いのしし」の大群が出没して畠や水田を荒しまわり農家は悲鳴を上げている、この「いのしし」の群は先月下旬ころからノコノコと人里近くまでやつてきて永戸村の高野部落ではサツマ畠七町歩が堀り返えされて全滅したほかようやく実つてきた稲穂も喰いあさり五反歩が被害をうけた部落みんはなんとか「いのしし」を追い払おうと毎晩交代でバケツをたたき徹夜で奮闘しているがチヨツト油断するとたちまち襲つてくるので平口している、そこで地元猟友会では「いのしし」の本拠とみられる湯の岳連峰や水石山に乗りこんで大掛りな「いのしし」退治をやる事になり張切つている

本湯　因業婆さんのユウ霊
「死んだらバケて出てやるぞ」　恐怖におののく家人

原水爆までできている科学万能の世の中に夜な夜なあらわれるゆう霊になやまされふるえあがつている三人家族がありまだ去りやらぬ夏の夜話になつているゆう、霊がでるというところは常磐市湯本字阪谷四三阪の湯旅館からほど遠からぬ淋しい山添いのみん家で去月廿二日長い間喘息を病んでいた菊地トミさん(六三)が死んでから毎夜のように草履の音がしばらくすると今度は喉をぜいぜい鳴らして呻く声がするのでトミさんの夫惣一さんは最初のうちは「婆さんがきた」と何気ない顔をしていたが毎夜のことなのでそのうち恐怖にとらわれ長男の房夫さん(三五)は「寝ていたら手を引つぱられたのでおどろき目をさましたところ枕元にトミ子さんの亡霊が坐つていた」とこれ又恐怖にかられ自宅から離れた近所の馬上利男さん方に泊りこんでいるといい中島節子さん(廿七)はまた卅一日の夜八時ごろトミ子さんの魂が抜けたのか青白い尾を引いた火の玉がフワリフワリと飛んでいつたのをみたと語つている、ゆう霊が出始めてから廿日にもなるので噂は噂を呼び好事家連の強奇心をそそつているが近く附近の青年たちが先頭にたち原因を究明し不安をとりのぞいてやることになつている、なおトミさんは因業な人だつたらしく死の直前にふとしたことからかんしやくを起し「死んだらバケてやる」と語つたとも風評されているので家族たちの強迫観念がゆう霊をこしらえあげてしまつたのではないかともいわれている

伊東絹子一行フアッションショー御招待

當選番號發表

6	92	164	217	305	402	505	616
15	99	179	222	309	409	511	621
22	102	185	228	311	411	519	632
37	109	189	234	315	415	523	649
39	121	190	240	320	416	525	652
40	128	191	247	342	420	536	636
50	130	192	252	347	430	544	661
62	140	194	273	350	440	547	690
69	134	202	277	354	446	555	694
78	141	209	281	359	464	568	
81	143	211	282	372	485	589	
89	145	213	301	392	498	592	
90	159	215	304	400	500	603	

(抽せん券の御引換は17日迄御願いします)
開催期日　18　19日
場所　平市公会堂
平餅発賣元
平市銀座街
TEL 206
松月堂

秋に関する第五章

あのヤロウ、頭の先から足の先まで見やがつた―などとヤボなことをいうものじやありません。どんなによい帽子をかぶつていても、どんなモードの背広を着ていても、靴がバタバタでは台なしです。帽子や洋服は多少、古くても、クツだけは、いつもスカツとしていたいものです。
磨きぬいた良いクツは、その人の信用を高め、生活をうかがわせます。宿屋の女中さんが、まず靴を見て部屋に通すというのは商売がらうまいところに目をつけたものです。
クツといえば、何んといつても三十米通りの大塚でしよう。女房のように、しつくり合つて、軽快でスマートで丈夫で…まず申分ありません。
「あら、あの方の足音よ」
彼女が、足音で、あなたの来訪をききつけたのも、大塚のクツなればこそです。どんなクツでも責任をもつ、クツのデパート大塚は、足のある人なら忘れてならない店です。

靴の大塚

秋に関する第六章

清子は、いままで美容院にかかつたことはなかつた。
―自分の髪は自分で手入れをするのが一ばんよく似合うと固く信じていたからであつた。事実、美容院から、流行の髪の試験台に使われたような似合わぬ髪を結つて出てくる女の人をみると、吹き出したくなるよりも、むしろ、その女の人が気の毒にさえなつてくるのであつた。
しかし、清子が、長谷川美容院を知つてからは、美容院に対するこうした自分の考えを改めねばならなかつた。
―君、長谷川さんに行つてごらん、うちのおふくろは、十年来、長谷川一天張りなんだよ。
と春樹にいわれ清子は初めて長谷川美容院を知つたのだが、長谷川さんから出てくる女の人だけはコールド・パーマにせよセツトにせよ百人が百人、その人にしつくり合つた無理のない髪形をしているのであつた。彼女は春樹と結婚しても長谷川美容院に通うことになるだろうし、自分に娘が生れたら娘もまた長谷川さんに通わせるだろうと、今では思つている。

長谷川美容院

薄幸の子に親がわり
成績がよければ大学までも
内郷に師弟美談

父に虐待され深夜家をとびだし共同風呂場にもぐりこんで寝ていた可憐な少年を二人も子供がある身もいとわず自宅にひきとり吾が子のように愛いくしている青年教師があり話題になつている内郷市宮町蛭子高坂小教諭樋口和夫先生(三三)で去る一日夜十二時ごろ常磐炭鉱町内風呂場にもぐりこんで寝ていた同町滝二〇宮小三年生小松崎洋一君(九つ)を妻キミエさん(三七)が発見気の毒に思い自宅まで連れてきたので一泊させ事件を聞いてみたところ「父に叱られいじめられるので帰りたくない」とすすり泣くばかりなので実父政治さん(三七)宅を訪れたが「二三年前から結核で寝ている、妻やす子(三三)は水戸市に出稼ぎにでている、生活に困りついかんしやくを起すも事ある」という返事、ところが一緒にいつた洋一君が「父のところがいやだ」と泣き叫ぶので樋口先生は「この親のところに帰つても直ぐ家出するのに違いない、この父のところにいるより私の家にいた方が幸福だ」と考え妻と相談して引きとつたもので洋一君は毎日元気で通学しており樋口夫妻にも親のようになつき長男諒ちゃん(五つ)直助ちゃん(二つ)たちの子守りをしながら仲よく遊んでいる、樋口先生は終戦の年上野駅前をうろついていた薄幸の浮浪児を自宅に連れてきて愛いくしたこともある奇篤な人で「元気らんまんなよい子です、どんなに生活をきりつめても将来のめんどうはみるつもり、自分の子供が成績が悪く洋一君がよければ自分の子供は犠牲にしても大学までやる覚悟です、もし成績が悪くとも高校までは卒業させてやりたい」と語つている

読者のこえ

離れさる郷土の匂い

十五夜にはなけなしの財布をはたいてダンゴを供えナシも二つ三つほど買い子供達と一諸に月を眺めお月見の由来などについて語り聞かせていると家の廻りを四、五人の子供らがうろうす廻つているのに気がついた、そういえば私たちの幼かつたころ「ダンゴさし」といつてお月見の夜は各家庭をまわりこつそりと或は「ダンゴをつかせてくんちえ」といいながらナシさつまいも、枝豆、ダンゴなどをさしたものだ、そしてどこの家でも子供たちのくるのをまつていたものだが近ごろはダンゴさしの子供たちも少くなりまた各家庭でも子供たちを追いかえすようになつた、その風習のよしあしはともかく世の中がセチ辛くなつてくると同時に子供たちの遊び方もおのずと変り我々の周囲からは郷土の昔からの匂いが飛び去つてしまうような淋しい気がするのは私一人ではあるまい（平市久保町、金田）

新映画

月蒼くして

自称女優のパテイ（マギー・マクナマラ）は若い建築家ドン（ウイリアム、ホールデン）とエンパイアステートビル中で知り合い、二人はドンのアパートで食事を共にしパテイが料理する、ドンが料理材料を買いに外出した留守の時、ドンのもとの婚約者シンシア（ドーン・アダムス）が訪ずれる二階にすむデブイツト（デブイツト・ニーブン）がドンを夕食にさそいだしにくるがパテイの親切なたい度に心を惹かれる、食事中デブイツトはパテイのドレスにケチヤツプをこぼし、彼女はドンの部屋でドレスを脱ぎおちつく、一方シンシアはドンの仲を戻したい一心でドンを電話で誘いだし近くのバーであいびきする、デブイツトはパテイにすつかりほれ求婚するがパテイは女優めざして金に困る生活だぶらとうちあけて受けつけない、気のよいデブイツトは百ドル六枚を彼女に条件なしで借す、彼女は返礼にデブイツトにキスをするが不幸なことにも荒れにあれたドンとシンシアが戻つてこれをみてしまう、荒れたドンは部屋を飛びだす、このときパテイの父親マイケルが娘の行為をののしりつれ帰る、夜遅くドンは眼の手当をしている、とまたパテイが訪ずれた、デブイツトはこれを発見して自分のハカナイ恋をあきらめる、二人の男に信用をなくしたパテイはデブイツトに金を返す、ドンに受け入れられないパテイは翌日エンパイア・ビルの展望台にやつてくる、二人が初めて知り合つた場所だけに感傷にふけるがドンも忘れられずこゝに来て二人はまた落ち合う、ドンは彼女に結婚を申し込む、同時上映「ブラボーとりでの脱出」（聚楽館）

ビツクリ五十三次

金太郎（高田）は故郷みたさに東海道を旅するが唄が縁でお夏（美空）と連れになる、お夏の連れお百婆さん（飯田）はお千（野辺）娘お万(勝浦千浪)と金谷で宿屋を営んでいる、金太郎は舟の中で金比羅帰りの石松とバクチして石松（三井弘次）から五十両をまくりあげる、お百の家「ひようたん屋」を訪ずれた金太郎はお万に好意を抱きながら留まるがお夏からお万が土地の顔役に難儀を受けているのを聞きおふくろに会うまでは喧嘩をしないと尻ごみ、清水次郎長と浜千鳥の喧嘩となり金太郎は事件に巻きこまれるが気のよわい荒木のお陰であばれる気をおさめ金太郎は故郷へ帰る、母は死、妹は行方不明だつた、傷心の金太郎は「ひようたん屋」に舞い戻つてお万とお夏の温い友情と愛をうける同時上映「芸者秀駒」「ブロードウエイの寝室」（平館）

花の白虎隊

会津藩は旧幕府に殉じようとした白虎隊の一人篠原準之助（市川雷蔵）は兄新太郎を国境近くの戦場に送り、祖母のてつ女（毛利）母梶女（入江）金坊をかかえた嫂のお雪（阿井美千子）と家にあつたが兄の戦死の報をうけた、親友池上仙吉の妹百合（峰幸子）は許婚だが自分の立場でふんぜんと立つつた、親友の仙吉（花柳武始）は日新館の秀才、フランス行きを夢見たが国の戦さの前に夢は一時預かりとなり恋人のおさよ（小町瑠美子）のフランス式軍隊を着て我慢するばかり、征東軍の板垣退助（杉山）は軍監桐野利秋（黒川）の案で石筵口を急襲する、城下は白虎隊の出動でごつた返えした、準之助は百合と別れを惜しみ、仙吉に戦のない国に逃げてくれとせがむおさよ…出陣したが白虎隊の防備はむなしく…同時上映「暗黒街の脱走」「霧の小次郎一部」（世界館）

平原の勇者

ゲリラ一団のジム（ランドルフ・スコツト）は兄の仇スローカムをつけ狙つていた、南北戦争が終りならず者となつたジムはスローカムのさしがねの男に逮捕されレイニヤードへ連れられる、途中進行の男が渡舟の転覆で死亡彼は岸に倒れていたが酒場の経営者オルダムと美人フローレンス（ジエーン、ナイ）に助けられる、町ではスローカムが暴利計画でジヨニーを手先きに荒れ廻る、ジムは町の無法者を退治して町みんの感謝をうけ保安官になれと頼まれる、改心したジムは腐敗しきつた町の改革に乗りだす、一方スローカムは土地代を上げたり牛の通行料をとつて町みんを苦しめ商人を殺し始めるスローカムの手先きヤンシーを捕え裁判に廻すが、ヤンシーがジムの前身を法廷であばき反対にジムを死刑に陥し入れる、絞首刑になる寸前ゲリラ時代の親友ジエシー（デイル、ロバートスン）がかけつけジムを助ける、同時上映「第十一号監房の暴動」（ひかり座）

黒い潮

秋山国鉄総裁の轢死体が発見されてから毎朝新聞社の活躍が始まつた、この事件を担当した速水記者（山村）は自殺、他殺説どつちにもかたよらない記事を書いた、他社は完全な他殺説のため社幹部は速水を激励したが或る日、取材先きの東大法医学教室で旧師佐竹（東野）にあい速水は十六年前の感傷と思い出にふけり佐竹は速水の家庭に色々と世話するのだが、事件で頭一杯の速水は究明に力を入れるが、国鉄整理がからむ美麗事件の発生で秋山総裁の死は他殺説が濃くなる、社の責任で速水は転任になるが「真実は判らない、必ず判るときがくる」と言葉をのこして去る、山村聰監督主演、東野英次郎、津島恵子、夏川静江、滝沢修、千田是也、左幸子出演、同時上映「お尋ね者」「ネチヨリンコンの巻」（民劇）

懸賞募集 商店織込替歌（26）

大黒屋はぶの港

常磐市湯本町東区十八　吾妻登美子

一軒のつばめに
便りをきけば
まねて　平の大店小店
明日の特売
ヤレホンニサ　大黒屋
二風は恋かぜ
城山おろし
晴れて嫁く日をハートに秘めて
買つた振袖
ヤレホンニサ　大黒屋

マルサ肉賣娘

平市佃町三九　SK生

七色にネオン輝く
マルサの店は
カツレツ　コロツケ
野菜サラダ
神戸牛肉
ハムにソーセーヂ
肉を召しませ
マルサの美味い肉を

パチ情報

「おたくは毎日どのくらいだしていますか」「毎日十割から十二三割です」「成程、それでは赤字つづきですね」「そうです、ださなきゃ客はへるへれば困るです」「それでは店の経営はなつちやいかないでしようね」「本当です、しかし大衆に奉仕するということがつまり大衆からうけることですから」全くその通りだ、しかし赤字赤字といつていながら店は増築する機械は入れかえる、まつたくパチンコ屋の経営は分らない、もうかつていることは間違いないようだが客の方でもうけているのはごくわずからしいのが本当だ、でも辛いのはパチンコマニヤ、諸君が今日までに損をした金額を毎日帳簿につけていたとするならば恐らく一人当り数千円から数万円になるだろう、これはつまるところ「欲の皮」が張りすぎ「アソビ」の本質を忘れているからなのだ、それを証拠にパチンコやは遊技場と名のつているではないか、「欲の皮」をひつつめて遊びなされば「ソン」をしたとか「トク」をしたとかでムキになることもなくなろうというものだ

今晩の映画（八－十四）

◇聚楽館　語らざる男　オリーブの下に平和はない
◇世界館　緑の仲間　唄ごよみいろは若衆
◇平　館　新婚たくあん夫婦　娘心は恥かしうれし
◇民　劇　関八州勢揃い　戦争と将軍　美人島探検
◇ひかり座　裸の島　禁断の木の実
◇第二いわき（十一－十四）　弥次喜多第二部　死美人屋敷　芸者小夏
◇磐映劇　国定忠次　潜水艦ろ号未だ浮上せず

BSモーター売りたし（車体付）
価格は二萬五千円位委細面談
ヌマチ寫眞館　常磐市湯本　電一六四

新高のパンとケーキ　常磐市　電二三六

カバンのデパート　平駅前　ヨシダ

カメラ DPE 専門の店　ウリウ　綴駅前　電二〇四九

9月25日まで　合計二萬円以上お買上げの方に
土湯行　御招待
山吉呉服店　平市四丁目　電268番

9月平けいりん　結果は毎日本紙に発表
午前11時発走
前節17 18 19　後節21 22 23
賣場　大町・郡山　若松・福島

1000名様御好評のため更に御招待大売出し　10・19

奥さまお嬢さんの話題を独せんした伊東絹子一行四十名の豪華絢爛　本年最大のミュージカル・フアツションショウは満都に絶讃と共感をよんで九月一日日比谷公会堂にて高松の宮御夫妻御臨席のもと幸先よいスタートを切りました　このショウを間近にしてより大勢の奥さまお嬢さんに見て頂くため鈴藤は更に1000名様御招待大売出しを決行して御好評にお応え致します

300圓お買上毎に抽せん券1枚進呈

特　賞　M式編物機械1台（価格　8.500円）
一　等　招待券　1000名様
末　等　伊東絹子嬢サイン入りハンカチ又はニッサン石鹸1個進呈

1500円以上お買上げのお客様には招待券差上げます

御買上	300円毎に抽せん券1枚
期　間	9月10日より19日まで
と　き	9月18日　19日
ところ	平市公会堂

純毛トツプ染　呉羽紡チヨツプ品　アポロ毛糸
カネボーチヨツプ品　ポポ毛糸
純毛後染　ゴールデン・キング
店頭において連日M式編物機の実演をしております

衣料品のデパート
鈴藤

9月19日午前11時頃三丁目支店へ伊東絹子さん始めモデルがお訪ね致します